

# 2013年3月期 決算説明会 プレゼンテーション資料



2013年5月30日

東証一部 証券コード 3023

 **ラサ商事株式会社**  
<http://www.rasaco.co.jp/>

## INDEX

### I. 2013年3月期 決算の概要

1. 決算概要(連結、個別)
2. 損益計算書(連結、個別)
3. 部門別の概況
4. 貸借対照表(連結、個別)
5. キャッシュ・フロー(連結)

### II. 2014年3月期 業績見通し

1. 業績見通し(連結、個別)
2. 配当

### III. 今後の戦略

1. 事業の変遷
2. 今後のグループ経営
3. 目標とする経営指標
4. 成長戦略

### 参考資料

- ・株主数の推移
- ・用語集

# I. 決算の概要

## 1. 2013年3月期 ①決算概要(連結)

・当期から損益計算についても連結した初年度

### ● 経営環境

- 欧州での債務問題や原油高などによる海外景気の下振れ懸念
  - 電力供給の制約やデフレ影響
- ➡ 先行き不透明な状況

当初予想      ・売上      325億  
(連結ベース)      ・経常利益 13億5千万

### ● 決算概要

- 売上高は予想を大幅に下回る  
288億7千4百万(▲11.2%)
- 経常利益はほぼ予想通り  
13億4千6百万(▲0.3%)

■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



# 1. 2013年3月期 ②決算概要(ラサ商事個別)

## ● 経営環境

➡ 先行き不透明な状況

## ● 個別決算 減収減益予想

- 売上 230億
- 経常利益 13億3千万

## ● 決算概要

## ● 大幅減収、減益(前年比)

- 売上 194億5千万(▲24.5%)
- 経常利益 12億1千2百万(▲26.0%)

■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



# 2. 2013年3月期 ①連結の損益計算書

(単位:百万円・%)

	予想値 (2013.3)		当期 (2013.3実績)		対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	32,500	100	28,874	100	▲3,626	▲11.2
資源・金属素材関連	13,350	41.1	10,655	36.9	▲2,695	▲20.2
産機・建機関連	7,750	23.8	7,263	25.2	▲487	▲6.3
環境設備関連	1,850	5.7	1,478	5.1	▲372	▲20.1
化成品関連	9,420	29.0	9,334	32.3	▲86	▲0.9
不動産賃貸関連	130	0.4	142	0.5	12	9.2
その他	-	-	-	-	-	-
売上総利益	4,750	14.6	4,476	15.5	▲274	▲5.8
販売費及び一般管理費	3,400	10.5	3,202	11.1	▲198	▲5.8
営業利益	1,350	4.2	1,273	4.4	▲77	▲5.7
営業外収支			73			
経常利益	1,350	4.2	1,346	4.7	▲4	▲0.3
特別利益	0	0.0	14	0.0	14	-
特別損失	10	0.0	27	0.1	17	170.0
税引前当期利益	1,340	4.1	1,333	4.6	▲7	▲0.5
当期純利益	777	2.4	772	2.7	▲5	▲0.6
1株当り当期純利益(円)	68.47		68.06		▲0.41	▲0.6
1株当り配当金(円)	15		15		0	0
配当性向(%)	21.9		22.0		▲0.1	▲0.5

## 2. 2013年3月期 ②個別(ラサ商事)の損益計算書

(単位:百万円・%)

	前期 (2012.3)		当期 (2013.3実績)		前年対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	25,765	100	19,450	100	▲6,315	▲24.5
資源・金属素材関連	16,034	62.2	10,655	54.8	▲5,379	▲33.5
産機・建機関連	7,746	30.1	7,263	37.3	▲483	▲6.2
環境設備関連	1,964	7.6	1,478	7.6	▲486	▲24.7
化成品関連	-	-	-	-	-	-
不動産賃貸関連	-	-	-	-	-	-
その他	20	0.1	53	0.3	33	165.0
売上総利益	4,774	18.5	4,046	20.8	▲728	▲15.2
販売費及び一般管理費	3,144	12.2	2,859	14.7	▲285	▲9.1
営業利益	1,630	6.3	1,186	6.1	▲444	▲27.2
営業外収支	7	0.0	25	0.1	18	257
経常利益	1,638	6.4	1,212	6.2	▲426	▲26.0
特別利益	9	0.0	14	0.0	5	55.6
特別損失	26	0.1	7	0.0	19	▲73.1
税引前当期利益	1,621	6.3	1,218	6.3	▲403	▲24.9
当期純利益	870	3.4	711	3.7	▲159	▲18.3
1株当り当期純利益(円)	77.65		62.41		▲15.24	▲19.6
1株当り配当金(円)	15		15		0	0
配当性向(%)	19.3		24.0		▲4.7	▲24.4

RASA CORPORATION

7

## 3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- ジルコンサンドと輸入原料は大幅売上減。  
フェロニッケルの終了による売上減(▲6,163)を除けば  
チタン原料、金属シリコンの売上増で実質は+784

- 【フェロニッケル】 台湾向商流の終了で売上0
- 【ジルコンサンド】 数量、価格ともに前年を下回る。
- 【その他の商品】 輸入原料は売上減だがチタン原料、金属シリコンは売上増。(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
フェロニッケル	6,163	0	▲6,163	▲100.0	6,163	0	▲6,163	▲100
ジルコンサンド	4,982	4,633	▲349	▲7.0	5,067	4,388	▲679	▲13.4
チタン原料	1,768	2,783	1,015	57.4	1,747	2,813	1,066	61.0
輸入原料	1,212	959	▲253	▲20.9	1,208	1,125	▲83	▲6.9
金属シリコン	1,203	1,706	503	41.8	1,307	1,615	308	23.6
クローラークレーン	181	168	▲13	▲7.2	182	152	▲30	▲16.5
その他商品	521	403	▲118	▲22.6	524	399	▲125	▲23.9
合計	16,034 (6.85)	10,655 (6.11)	▲5,379	▲33.5	16,202 (6.63)	10,494 (6.16)	▲5,708	▲35.2

RASA CORPORATION

8

### 3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 売上についてはヒドロスタルポンプとシールド掘進機が増加するもワーマンポンプ他の売上減をカバーできず減収。
- 受注については、シールド掘進機の増額で前期比+210百万円。

【産機】 ワーマンポンプ本体・部品の売上・受注ともに減少。

【建機】 シールド掘進機は、前期の大幅減から持直し傾向。

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
ワーマンポンプ	3,397	2,990	▲407	▲12.0	3,309	3,245	▲64	▲1.9
ヒドロスタルポンプ	1,442	1,557	115	8.0	1,470	1,551	81	5.5
その他ポンプ	504	468	▲36	▲7.1	491	431	▲60	▲12.2
その他産業機械	962	839	▲123	▲12.8	980	780	▲200	▲20.4
産業機械 計	6,306	5,856	▲450	▲7.1	6,251	6,009	▲242	▲3.9
シールド掘進機	973	1,091	118	12.1	774	1,370	596	77.0
その他建設機械	466	314	▲152	▲32.6	463	319	▲144	▲31.1
建設機械 計	1,439	1,406	▲33	▲2.3	1,237	1,690	453	36.6
合計	7,746	7,263	▲483	▲6.2	7,489	7,699	210	2.8

### 3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備(ラサシステム)の大型案件の計上なく売上、受注共に減少。

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	1,070	735	▲335	▲31.3	454	377	▲77	▲17.0
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	584	550	▲34	▲5.8	604	521	▲83	▲13.7
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	309	192	▲117	▲37.9	310	218	▲92	▲29.7
合計	1,964	1,478	▲486	▲24.7	1,369	1,117	▲252	▲18.4

### 3. 部門別の概況 ④化成品関連

- イズミの担うセグメント。
- 安定した商品、顧客により堅調に推移。

(単位:百万円・%)

	前期 (2012.3)		当期 (2013.3実績)		前年対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	9,988	100	9,423	100	▲565	▲5.7
化成品関連	9,908	99.2	9,334	99.1	▲574	▲5.8
不動産賃貸関連	80	0.8	88	0.9	8	10.0
売上総利益	516	5.2	430	4.6	▲86	▲16.7
販売費及び一般管理費	489	4.9	317	3.4	▲172	▲35.2
営業利益	27	0.3	112	1.2	85	314.8
経常利益	7	0	96	1.0	89	1,271.4
税引前当期利益	▲128	-	76	0.8	204	-

2012年3月期について

- 販管費に、従来引当てをしていなかった退職給与引当金、賞与引当金を計上(82)
- 特別損失として役員退職金給与引当金を計上(173)

### 3. 部門別の概況 ⑤不動産賃貸関連

- 空室率8.3% イズミビル2Fにも申込入り満室見込み。
- イズミ隣地も6月より駐車場運用で収益貢献。

ラサ商事本社ビル	階数	内容
	8	ラサ本社
	7	ラサ本社
	6	ラサ本社
	5	ラサ本社
	4	ラサ本社
	3	賃貸中(114坪)
	2	賃貸中(102坪)
	1	賃貸中(37坪)
		合計(253坪)
		(その他 イズミ隣地)

イズミ本社ビル	階数	内容
	9	イズミ本社
	8	イズミ本社
	7	賃貸中(66坪)
	6	賃貸中(66坪)
	5	賃貸中(66坪)
	4	賃貸中(66坪)
	3	賃貸中(66坪)
	2	(空)(60坪)
	1	賃貸中(34坪)
	B1	賃貸中(48坪)
		合計(472坪)
		(その他 八潮、上尾駐車場2カ所)

- 当期不動産賃貸収入  
142百万(ラサ53百万、イズミ88百万)

## 4. 貸借対照表 ①資産の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>16,722</b>	<b>66.3</b>	<b>16,466</b>	<b>65.2</b>	<b>▲256</b>	<b>▲1.5</b>
現金及び預金	2,051		2,122		71	3.5
受取手形及び売掛金	9,815		8,884		▲931	▲9.5
商品及び製品	4,428		4,997		569	12.9
その他	428		461		33	7.7
<b>固定資産</b>	<b>8,509</b>	<b>33.7</b>	<b>8,797</b>	<b>34.8</b>	<b>288</b>	<b>3.4</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,114</b>	<b>(24.2)</b>	<b>6,338</b>	<b>(25.1)</b>	<b>224</b>	<b>3.7</b>
土地	4,399		4,730		331	7.5
建物及び構築物	1,584		1,524		▲60	▲3.8
その他	130		83		▲47	▲36.2
<b>無形固定資産</b>	<b>257</b>	<b>(1.0)</b>	<b>210</b>	<b>(0.8)</b>	<b>▲47</b>	<b>▲18.3</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>2,137</b>	<b>(8.5)</b>	<b>2,248</b>	<b>(8.9)</b>	<b>▲111</b>	<b>▲5.2</b>
投資有価証券	1,437		1,479		42	2.9
その他	699		768		69	9.9
<b>資産合計</b>	<b>25,232</b>	<b>100.0</b>	<b>25,264</b>	<b>100.0</b>	<b>32</b>	<b>0.1</b>

## 4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>11,522</b>	<b>(45.7)</b>	<b>10,901</b>	<b>(43.1)</b>	<b>▲621</b>	<b>▲5.4</b>
支払手形及び買掛金	7,111		4,856		▲2,255	▲31.7
短期借入金	2,061		3,740		1,679	81.5
1年内返済予定の長期借入金	311		357		46	14.8
1年内償還予定の社債	680		1,040		360	52.9
未払法人税等	563		403		▲160	▲28.4
その他	793		505		▲288	▲36.3
<b>固定負債</b>	<b>4,221</b>	<b>(16.7)</b>	<b>4,290</b>	<b>(17.0)</b>	<b>69</b>	<b>1.6</b>
社債	2,274		2,034		▲240	▲10.6
長期借入金	915		1,221		306	33.4
繰越税金負債	435		429		▲6	▲1.4
退職給付引当金	505		437		▲68	▲13.5
その他	91		167		76	83.5
<b>負債合計</b>	<b>15,744</b>	<b>62.4</b>	<b>15,191</b>	<b>60.1</b>	<b>▲553</b>	<b>▲3.5</b>
<b>株主資本</b>	<b>9,188</b>	<b>(36.4)</b>	<b>9,752</b>	<b>(38.6)</b>	<b>564</b>	<b>6.1</b>
その他の包括利益累計額	32		48		16	50.0
少数株主持分	266		271		5	1.9
<b>純資産合計</b>	<b>9,487</b>	<b>37.6</b>	<b>10,072</b>	<b>39.9</b>	<b>585</b>	<b>6.2</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,232</b>	<b>100.0</b>	<b>25,264</b>	<b>100.0</b>	<b>32</b>	<b>0.1</b>
<b>自己資本比率(%)</b>	<b>36.5</b>	<b>-</b>	<b>38.8</b>	<b>-</b>	<b>2.3</b>	<b>6.3</b>

## 4. 貸借対照表 ①資産の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>14,394</b>	<b>68.9</b>	<b>13,521</b>	<b>66.5</b>	<b>▲873</b>	<b>▲6.1</b>
現金及び預金	1,750		1,762		12	0.7
受取手形	2,314		1,771		▲543	▲23.5
売掛金	5,690		4,772		▲918	▲16.1
たな卸資産	4,335		4,926		591	13.6
その他	304		288		▲16	▲5.3
<b>固定資産</b>	<b>6,497</b>	<b>31.1</b>	<b>6,806</b>	<b>33.5</b>	<b>309</b>	<b>4.8</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,316</b>	<b>(15.9)</b>	<b>3,594</b>	<b>(17.7)</b>	<b>278</b>	<b>8.4</b>
土地	2,044		2,375		331	16.2
建物	1,151		1,124		▲27	▲2.3
その他	121		94		▲27	▲22.3
<b>無形固定資産</b>	<b>128</b>	<b>(0.6)</b>	<b>107</b>	<b>(0.5)</b>	<b>▲21</b>	<b>▲16.4</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>3,053</b>	<b>(14.6)</b>	<b>3,105</b>	<b>(15.3)</b>	<b>52</b>	<b>1.7</b>
投資有価証券	772		759		▲13	1.7
関係会社株式	1,595		1,595		0	0
保険積立金	400		506		106	26.5
その他	286		245		▲41	▲14.3
<b>資産合計</b>	<b>20,892</b>	<b>100.0</b>	<b>20,328</b>	<b>100</b>	<b>▲564</b>	<b>2.7</b>

## 4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>9,085</b>	<b>(43.5)</b>	<b>7,938</b>	<b>(39.0)</b>	<b>▲1,147</b>	<b>▲12.6</b>
支払手形	2,275		2,019		▲256	▲11.3
買掛金	3,015		1,137		▲1,878	▲62.3
短期借入金	2,099		2,943		844	40.2
1年内償還予定の社債	640		1,000		360	56.3
未払法人税等	548		403		▲145	▲26.5
その他	508		434		▲74	▲14.6
<b>固定負債</b>	<b>3,025</b>	<b>(14.5)</b>	<b>3,072</b>	<b>(15.1)</b>	<b>47</b>	<b>1.6</b>
社債	2,170		1,970		▲200	▲9.2
長期借入金	316		623		307	97.2
退職給付引当金	447		377		▲70	▲15.7
その他	91		102		11	12.1
<b>負債合計</b>	<b>12,111</b>	<b>58.0</b>	<b>11,010</b>	<b>54.2</b>	<b>▲1,101</b>	<b>▲9.1</b>
<b>純資産合計</b>	<b>8,781</b>	<b>42.0</b>	<b>9,317</b>	<b>45.8</b>	<b>536</b>	<b>6.1</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>20,892</b>	<b>100.0</b>	<b>20,328</b>	<b>100.0</b>	<b>▲564</b>	<b>▲2.7</b>
<b>自己資本比率(%)</b>	<b>42.0</b>	<b>—</b>	<b>45.8</b>	<b>—</b>	<b>3.8</b>	<b>9.0</b>

## 5. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	前期	当期	当期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	-	▲1,480	税引前当期純利益 1,333 減価償却費 170 売上債権の増加 930 たな卸資産の増加 ▲558 仕入債務の増加 ▲2,255 法人税等の支払 ▲593
投資キャッシュ・フロー	-	▲398	有形固定資産取得 ▲371 保険積立金の積立 ▲214
財務キャッシュ・フロー		1,949	短期借入金の純増減 1,678 長期借入金の借入 1,034 長期借入金の返済 ▲682 社債の発行 1,840 社債の償還 ▲1,720 配当金の支払 ▲199
換算差額	-	0	
増減	-	-	
期首残高	-	2,051	
期末残高	-	2,122	

## II. 2014年3月期業績見通し

### 1. 業績見通し ①連結

- **売上高は減、販売費及び一般管理費圧縮するも減益見通し。**

(単位:百万円・%)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	増 減	増減率
<b>売上高</b>	28,874	27,000	▲1,874	▲6.5
資源・金属素材関連	10,655	9,400	▲1,255	▲11.8
産機・建機関連	7,263	7,990	727	10.0
環境設備関連	1,478	1,640	162	11.0
化成品関連	9,334	7,800	▲1,534	▲16.4
不動産賃貸関連(その他)	142	170	28	19.7
<b>売上総利益</b>	4,476	4,560	84	1.9
販売費及び一般管理費	3,202	3,330	128	4.0
営業利益	1,273	1,230	▲43	▲3.4
経常利益	1,346	1,300	▲46	▲3.4
当期純利益	772	686	▲86	▲11.1
1株当り当期純利益(円)	68.06	60.46	▲7.6	▲11.2

# 1. 業績見通し ②個別(ラサ商事)

- **売上高は減、販売費及び一般管理費圧縮するも減益見通し。**

(単位:百万円・%)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	増 減	増減率
<b>売上高</b>	19,450	19,100	▲350	▲1.8
資源・金属素材関連	10,655	9,400	▲1,255	▲11.8
産機・建機関連	7,263	7,990	727	10.0
環境設備関連	1,478	1,640	162	11.0
化成品関連	-	-		
その他	53	70	17	32.1
<b>売上総利益</b>	4,046	4,100	54	1.3
<b>販売費及び一般管理費</b>	2,859	3,000	141	4.9
<b>営業利益</b>	1,186	1,100	▲86	▲7.3
<b>経常利益</b>	1,212	1,150	▲62	▲5.1
<b>当期純利益</b>	711	638	▲73	▲10.3
<b>1株当り当期純利益(円)</b>	62.41	55.96	▲6.45	▲10.3

# 2. 配当

- **当期実績 前期と同額の15円**  
【中間】7.5円 【期末】7.5円
- **今期予想 15円**  
【中間】7.5円 【期末】7.5円

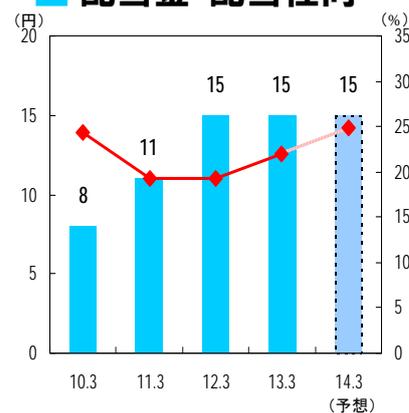
## ● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

【当期実績】 22.0%

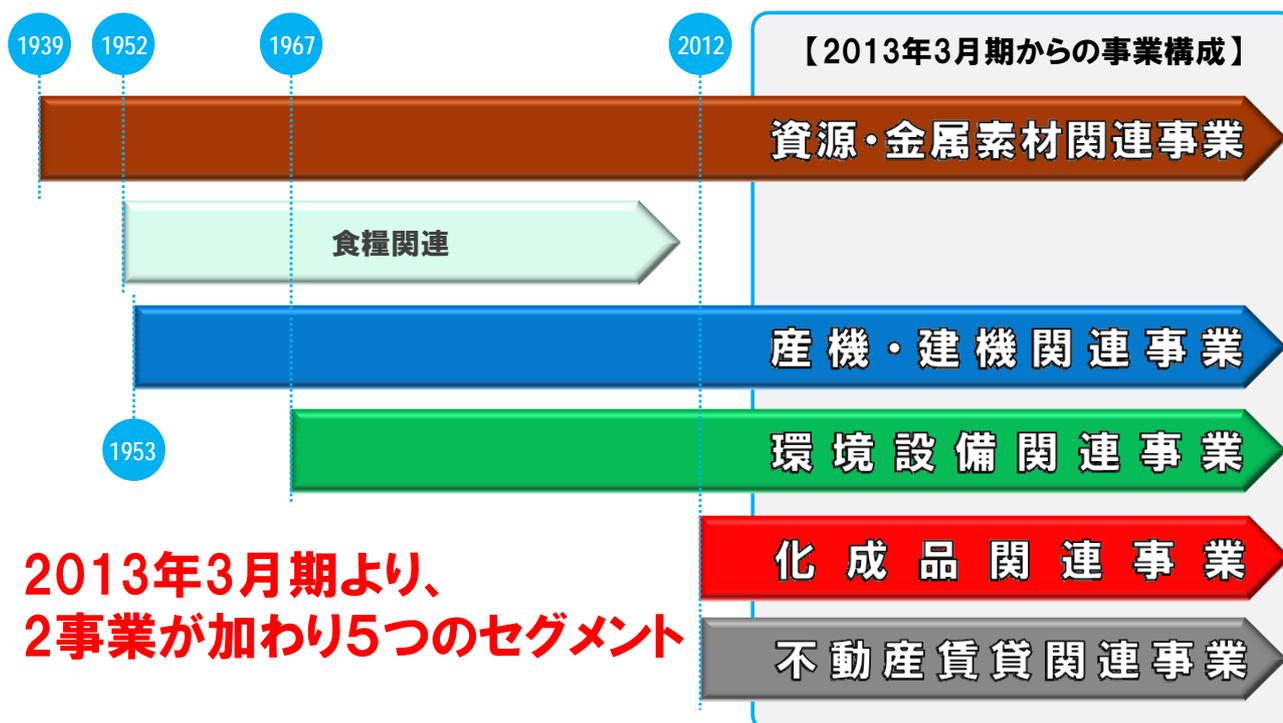
【今期予想】 24.8%

## ■ 配当金・配当性向



# III. 今後の戦略

## 1. 事業の変遷



## 2. 今後のグループ経営

2012年1月 イズミ(株)を子会社化

→ 2012年4月～  
フル連結によるグループ経営

2013年8月  
イズミ → ラサ本社へ移転

2013年3月期  
(2012.4~2013.3)

2014年3月期  
(2013.4~2014.3)

2015年3月期  
(2014.4~2015.3)

2016年3月期  
(2015.4~2016.3)

### イズミ(株)の体制整備・強化

- ・イズミ(株)の経営及び事業把握
- ・事業運営体制の見直し(整備・強化)

### グループシナジー創出への取り組み

- ・両社の商品およびネットワークの相互活用による、売上・利益の拡大
- ・管理部門コスト、金融コスト等の効率化

### グループ経営体制の構築により 新たな高収益構造を築く

目 標: 2016年度に過去最高益を目指す

基本戦略:

- ①個々の事業セグメントの強化・拡大(既存分野の深化と新規分野の創造)
- ②セグメント間でのシナジー効果の創出と最大化
- ③グループ全体でシナジー効果を最大化する経営体制の完成

## 3. 目標とする経営指標

●財務の健全性を念頭におきながら、自己資本を効率的に活用しつつ株主価値の拡大をはかることを主眼に下記の経営指標の目標値を掲げております。

- ①総資本経常利益率 (ROA) は10%以上を目標とします。
- ②自己資本比率は50%以上を目標とします。
- ③自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上を目標とします。

	2012年(連結) 2012年(個別)	2013年(連結) 2013年(個別)
総資本経常利益率 (ROA)	- (9.14%)	5.33% (5.88%)
自己資本比率	36.54% (42.03%)	38.80% (45.84%)
自己資本当期純利益率 (ROE)	- (10.41%)	8.12% (7.86%)

## 4. 成長戦略 ①資源・金属素材関連

- ジルコンサンド製品の多様化
- 輸入原料の高付加価値化
- エネルギー用途原料への注力
- 中国、東南アジア諸国、インドの市場拡大



▲ジルコンサンド



▲金属シリコン



▲鱗状黒鉛

## 4. 成長戦略 ②産機・建機関連

- 石炭関連分野へ注力
- 機能性材製造業向に注力
- 更新需要の喚起と  
メンテナンスサービス体制の一層の充実

### ■ 今後の展開

- CCT (Clean Coal Technology) 【クリーンコールテクノロジー】  
石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術
- 機能性材料  
材料の種類を大きく二つに分けると、その強度を利用する構造的な材料と機能を利用する機能性材料に分けることができます。前者は建物や乗物その他を構築する上で必要であり、後者は触媒、センサー、エネルギー変換等で必要とされます。



▲ワームポンプ

## 4. 成長戦略 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備「ラサ・システム」の販売  
IGCC(石炭ガス化複合発電)向
- 同設備の非鉄精錬ユーザーへの販売
- 既存の同設備の自動運転、省エネ運転などの提案、販売

### ■ 今後の展開

- 水砕スラグ製造設備  
製鉄所の高炉の付帯設備。  
製鉄業界では「ラサシステム」として世界的に知られている。  
製鉄過程で発生する副産物の「熔融スラグ」をセメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所において不可欠な設備となっている。
- IGCC  
「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。  
従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO2の排出量が最も少ない発電方式。

水砕スラグ製造設備



## 4. 成長戦略 ④化成品関連

- 合成樹脂、ケミカルズの専門商社として、様々な業界に素材を供給

#### 主な取扱品目

- プラスチック（合成樹脂、樹脂添加剤）
- シート・フィルム・テープ  
（各種樹脂フィルム、金属箔、ほか）
- 各種加工製品（押出製品、射出製品、ほか）
- 油脂・ケミカル（ケミカル、その他化学品）

供給

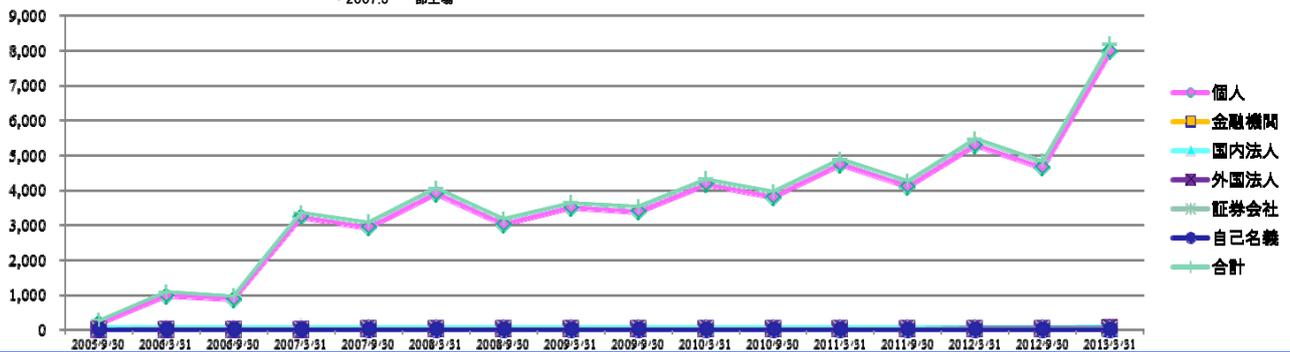
自動車分野  
建材分野  
電気・電子分野  
など



# 株主数の推移(単元未満含む)

	2005/9/30	2006/3/31	2006/9/30	2007/3/31	2007/9/30	2008/3/31	2008/9/30	2009/3/31	2009/9/30	2010/3/31	2010/9/30	2011/3/31	2011/9/30	2012/3/31	2012/9/30	2013/3/31
個人	171	970	864	3,225	2,929	3,890	3,010	3,487	3,373	4,154	3,800	4,726	4,095	5,288	4,642	7,975
金融機関	15	18	19	18	41	39	36	31	37	37	35	35	35	35	34	33
国内法人	57	65	58	67	68	75	68	72	67	73	73	78	73	70	71	88
外国法人	3	5	8	15	21	21	23	21	18	21	21	25	24	32	35	47
証券会社	0	9	8	16	18	22	21	19	25	21	21	19	23	28	28	25
自己名義	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	247	1,068	958	3,342	3,078	4,048	3,159	3,631	3,521	4,307	3,951	4,884	4,251	5,454	4,811	8,169

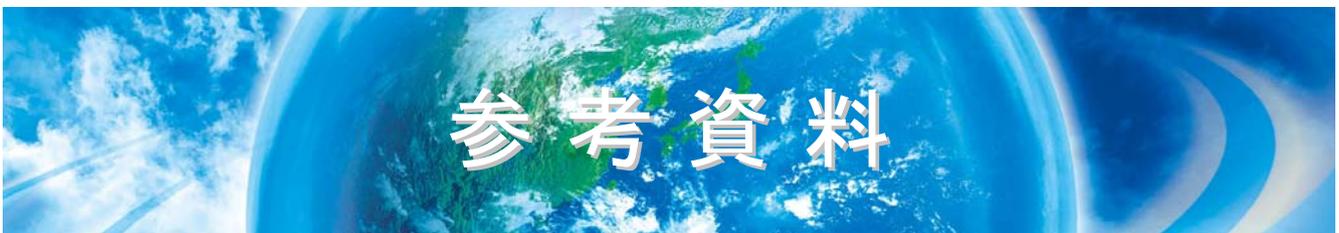
・2006.2上場  
 ・2006.9 100株単位に変更  
 ・2007.2 株主優待発表(500円オリジナルクオカード)  
 ・2007.3 一部上場  
 ・2008.3 緑の地球防衛基金への寄付発表  
 ・2009.2 カーボンオフセット付クオカードに変更  
 ・2011.1 世界の子供にワクチンへの寄付発表  
 オリジナルクオカードに戻す  
 ・2012.11 優待変更(1年以上保有500円から1,000円)発表



RASA CORPORATION

30

## 2013年3月期 決算説明会



RASA CORPORATION

31

## 用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

RASA CORPORATION

## 用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

RASA CORPORATION

## 用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO2の排出量が最も少ない発電方式。

RASA CORPORATION

## 用語集 ④ イズミ株式会社関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。 「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。 「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意 自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ株式会社の主力商品の一つである。
KES	「環境マネジメントシステム」の規格。 「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。 環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。 イズミ株式会社は2009年5月にこの規格を取得した。

RASA CORPORATION